



# 乳幼児期における性に関する行動への正しい理解と対応方法

インターネットやメディアの発達により、乳幼児が以前よりも簡単に、そして早い段階で性に関するコンテンツに触れる機会が増えています。乳幼児期に見られる性への関心や行動は、子どもが健やかに成長していく中での自然な発達過程の一つですが、保護者の立場からすると「もうそんなことを？」と驚いたり、戸惑ったりすることもあるかと思います。このようなとき、保護者がどのように対応し、支えていくかによって、乳幼児の性に関する行動が問題へと発展することを防ぎ、正しい性の概念を身につけ、健やかに成長することにつながります。過度な教育は必ずしも効果的とは言えませんので、日常生活の中で乳幼児が興味や関心を示した際に、自然な形で受け止め、対応していくことが大切です。

以下の内容を参考にしてみてください。

## 乳幼児期-性の発達&性行動の特徴

乳幼児期は、自分の体を探索し、性に関する基礎的な概念が形成される時期です。

- ・ 性器や体を見せることをおもしろいと感じることがあります。
- ・ 他の人の体をのぞいてみたいという本能的な気持ちを持つこともあります。
- ・ 性器がかゆくて、かいたりすることもあります。
- ・ 性器周辺に触れることで、満足さを感じる場合もあります。
- ・ 成長とともに、性器に対する好奇心が次第に高まっていきます。

## 注意事項

- ・ 大人の性行動とは異なるものであるため、乳幼児の視点に立って受け止め、日常の中で自然で落ち着いた対話や、開かれた姿勢で対応することが大切です。  
過度に反応してしまうと、かえって行動を刺激してしまい、子どもが隠れて行うようになり、罪悪感などの不適切で混乱した感情を抱いてしまうことがあります。

## 乳幼児期-年齢別 性行動



### 満0~1歳

- ・ 偶然に、自分の体の感覚を確かめるような行動をとることがあります。
- ・ おむつ替えや体を洗ったり拭いたりする際に、触れられる感覚に反応することがあります
- ・ 自分の性器を見たり、触ったりすることもあります。



### 満2~3歳

- ・ 家族や友だちの裸の姿に興味を示すことがあります。
- ・ 服を脱いだまま歩き回ったりすることもあります。
- ・ 自分の性器を見たり、触ったりすることもあります。



### 満4~5歳

- ・ ごっこ遊びの中で、友だちの服を脱がせようとする場合があります。
- ・ トイレをのぞこうとする行動が見られる場合もあります。
- ・ 自分の性器を見たり、触ったりすることもあります。

## 乳幼児期 - 場面別の支援

“自分の体に触れているうちに偶然性器も触るようになった。”

- ▶ 興味のある遊びに関心が向くように支援します。

“ごっこ遊びの中で、友だちの服を脱がせてしまいました。”

- ▶ 遊びのルールを伝え、さまざまな役割を表現できるように支援します。

“きょうだいが生まれてから、性器に触れるようになりました。”

- ▶ 関心が必要です。不安の原因に向き合い、代案を探します。一緒に遊ぶ時間を持ちましょう。

“女の子と男の子の体の違いが気になり、少しのぞいてみたくなりました。とても気になります。”

- ▶ 年齢に合った性教育を通して、子どもの好奇心や関心を解消します。

“体を見せたことで、友だちが驚いたり、面白がったりしました。”

- ▶ 他者に危害を与えない行動であれば、その行動自体を指摘するのではなく、子どもがどんな話を伝えたがっているのか耳を傾けましょう。

“退屈なときや、昼寝をしたくないときに、性器に触って遊ぶびます。”

- ▶ 一緒に楽しい遊びをしたり、安心して眠れるように援助します。

※ 出所：釜山広域市 育児総合支援センター



私たち一人ひとりにある“シャボン玉”のお話 1編



私たち一人ひとりにある“シャボン玉”のお話 2編



www.いまどきの子育て (乳幼児の保護者向け性暴力予防教育)